



第38期(2009年3月期) 第2四半期決算説明会資料

2008年11月14日

日本ラッド株式会社



Contents

1. 第38期第2四半期決算説明
および第38期通期業績見通し

2. 第38期上半期のトピックス

3. 会社説明

4. 今後の展開

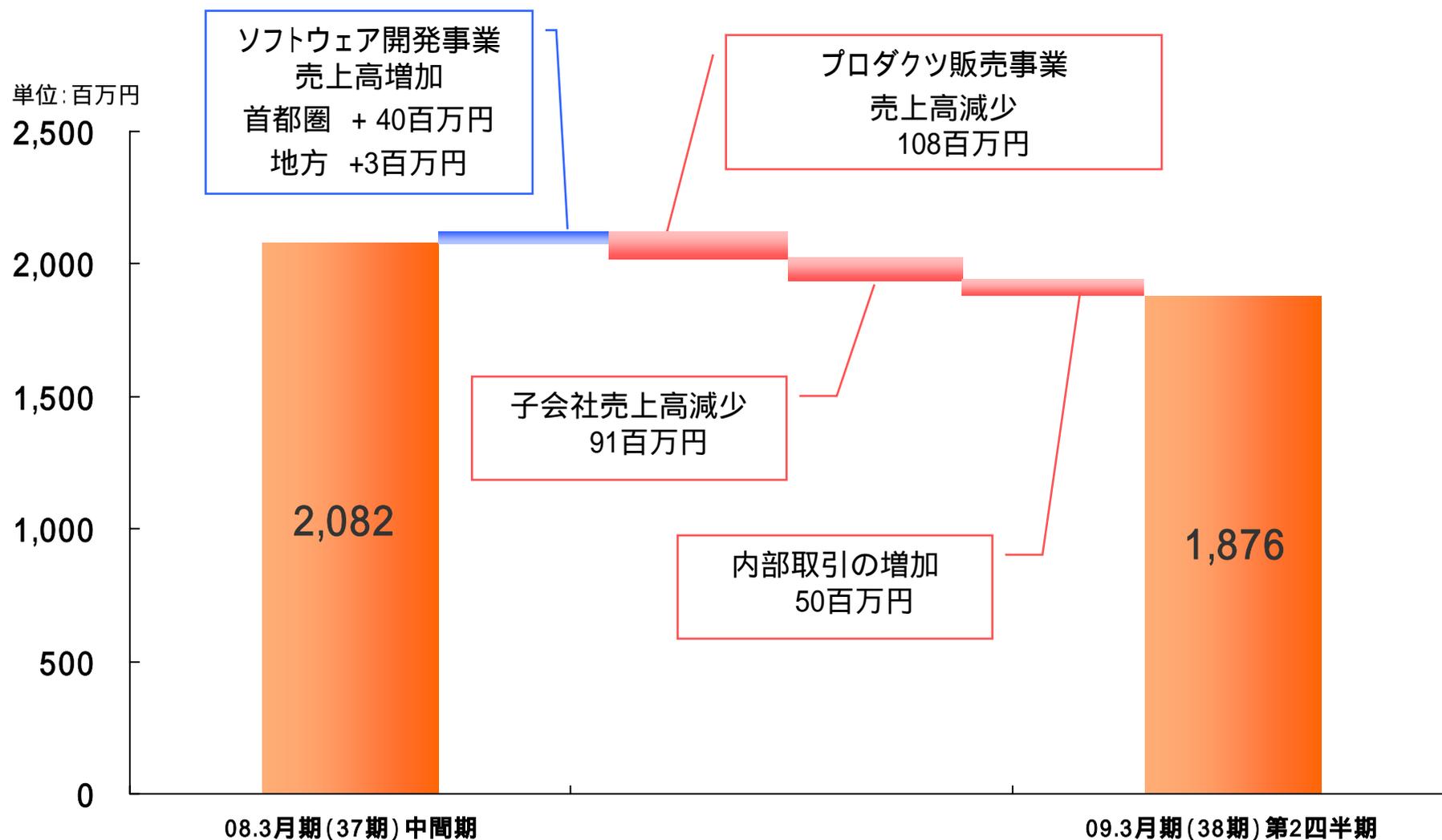
5. 補足資料

1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し
2009年3月期第2四半期連結業績ハイライト

P/L (単位: 百万円)	08.3期 (07.4 ~ 07.9) 中間期実績 (売上高比率)		09.3期 第2四半期 期初業績予測 (売上高比率)		09.3期 (08.4 ~ 08.9) 第2四半期実績 (売上高比率)		対前年同期 実績		対期初業績 予測	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	2,082	(100%)	2,150	(100%)	1,876	(100%)	206	9.9%	273	12.6%
営業利益	16	(0.8%)	63	(2.9%)	36		52		99	
経常利益	10	(0.5%)	57	(2.7%)	34		44		91	
四半期純利益	149	(7.2%)	26	(1.2%)	14		+ 134		40	

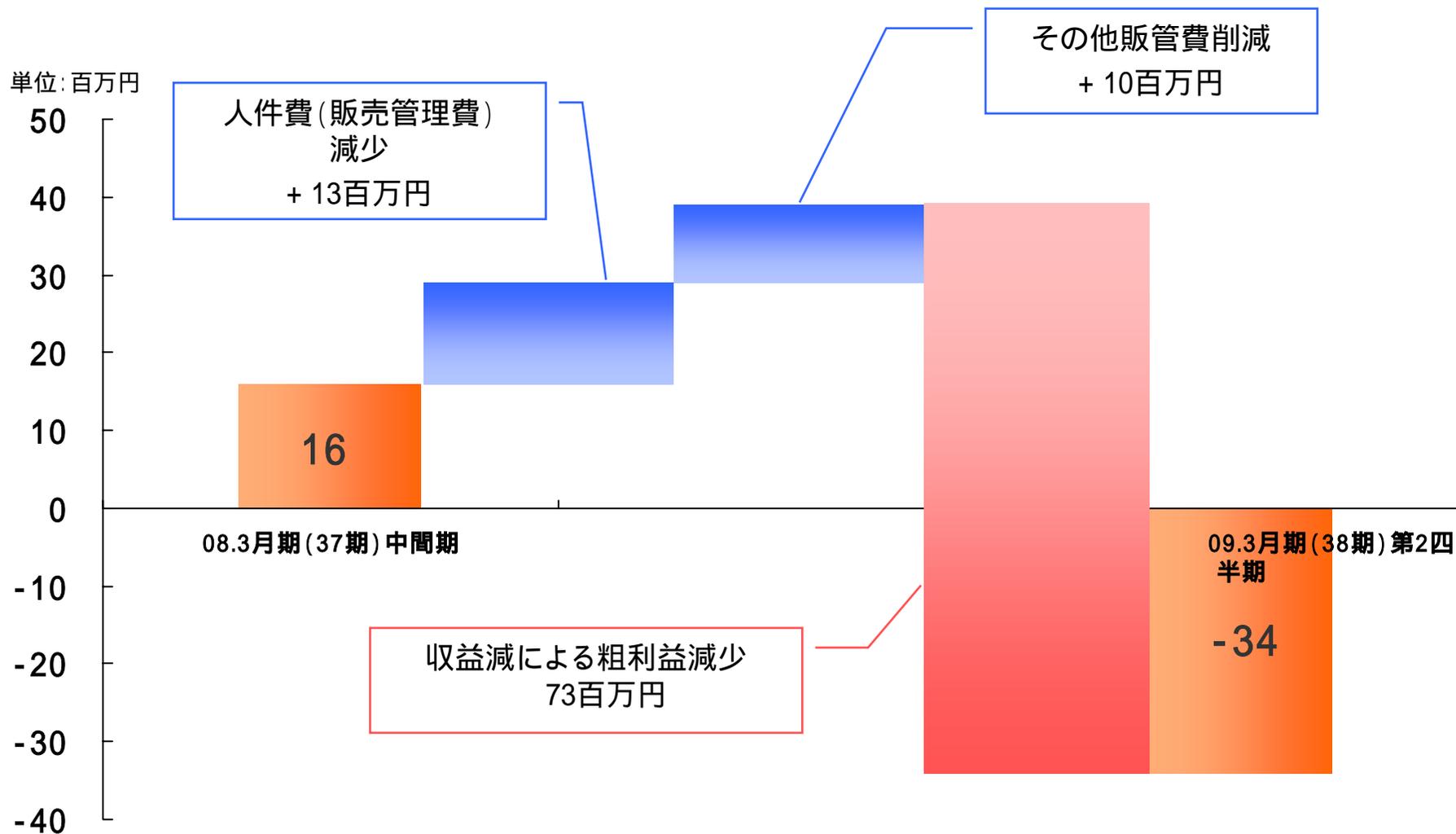
1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し

2009年3月期第2四半期 連結売上高分析(対前年同期比)

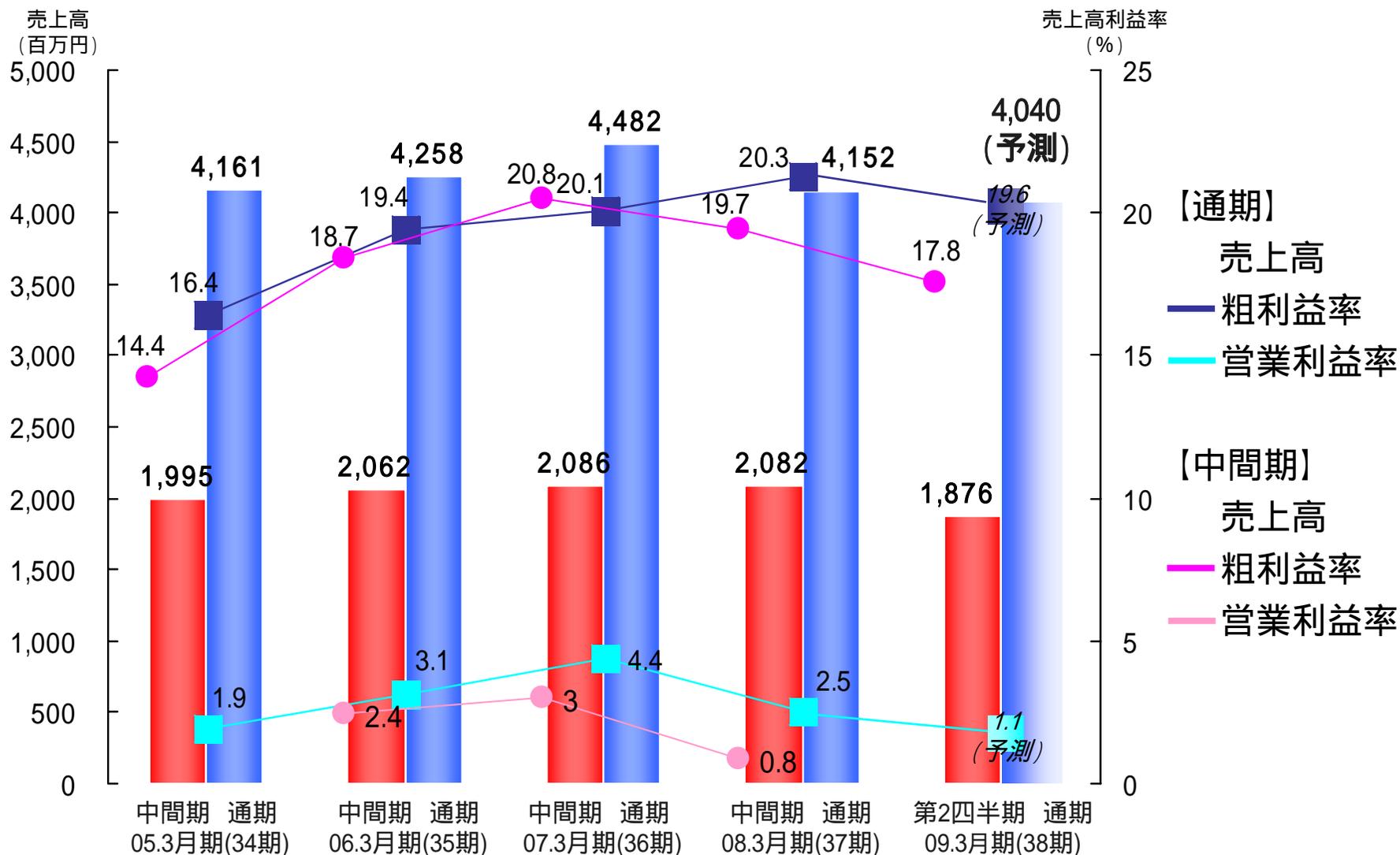


1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し

2009年3月期第2四半期 連結営業利益分析(対前年同期比)



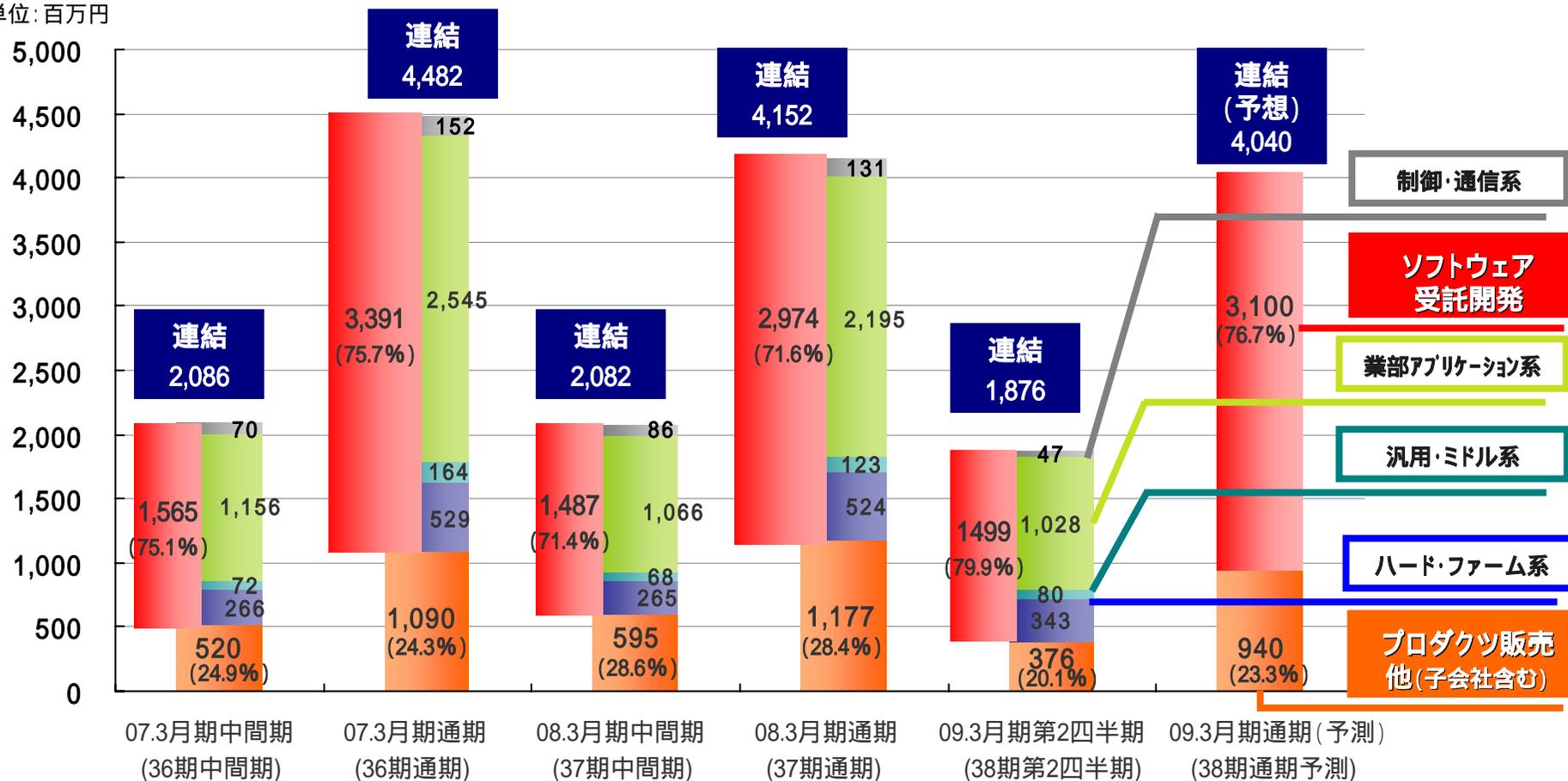
1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し 連結売上高と利益率推移



1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し セグメント別売上高推移

事業の種類別売上高推移

単位:百万円



1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し

2009年3月期第2四半期 連結損益計算書

単位:百万円

P/L (単位:百万円)	(07.4 ~ 07.9) 08.3期中間期実績 (売上高比率)		(08.4 ~ 08.9) 09.3期第2四半期実績 (売上高比率)		対前年同期	
	増減額	売上高比率増減				
売上高	2,082	(100 %)	1,876	(100.%)	206	
売上原価	1,672	(80.3%)	1,542	(82.2%)	130	+1.9P ↗
販管費	393	(18.9%)	370	(19.7%)	23	+0.8P ↗
営業利益	16	(0.8%)	36	(1.9%)	52	↘
営業外損益	5	(0.3%)	2	(0.1%)	8	↗
経常利益	10	(0.5%)	34	(1.8%)	44	↘
特別損益	181	(8.7%)	23	(1.2%)	204	↗
税金費用等	23	(1.1%)	12	(0.6%)	35	↗
少数株主損益	2	(0.1%)	7	(0.4%)	9	↘
四半期純利益	149	(7.2%)	14	(0.8%)	134	↗

1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し 2009年3月期第2四半期連結貸借対照表およびキャッシュフロー計算書

BS(単位:百万円)	08.3月期末(08.3.31)	09.3第2四半期末(08.9.30)	増減	
流動資産	2,477	2,478	1	▲
構成比	70.4%	71.7%	-1.3P	
固定資産	1,040	977	63	▲
構成比	29.6%	28.3%	+1.3P	
流動負債	1,196	1,161	35	▲
構成比	34.0%	33.6%	-0.4P	
固定負債	536	553	17	▲
構成比	15.3%	16.0%	+0.7P	
純資産	1,784	1,741	43	▲
構成比	50.7%	50.4%	-0.3P	
資産合計	3,517	3,456	61	▲
CF(単位:百万円)	08.3月中間期末	09.3月第2四半期末	対前年差額	
営業活動	116	170	54	▲
投資活動	27	35	62	▲
財務活動	34	2	32	▲

固定資産

- ▶販売権の評価損 32百万円
- ▶投資有価証券の売却 49百万円

純資産

- ▶第2四半期純損失 14百万円
- ▶配当金支払い 20百万円

営業活動CF

▶棚卸資産の増加67百万円、賞与引当金減少26百万円による減少も、売上債権の減少2億78百万円等の増加要因により前年比収入増。

投資活動CF

主に投資有価証券の売却49百万円等の増加要因により、前年比収入増。

財務活動CF

▶配当金支払い19百万円等の資金減少も、短期借入金17百万円の増加等により、前年比支出減。

1.第38期第2四半期決算説明および第38期通期業績見通し

2009年3月期 業績予想

連結 (単位:百万円)	09.3月期通期業績予想		対前年実績		08.3月期 通期実績	09.3月期 期初予想 (08.5.20発表)
	(08.11.5修正)	百分比	増減額	増減率		
売上高	4,040	-	112	2.7 %	4,152	4,580
営業利益	43	1.1%	61	58.7%	104	227
経常利益	5	0.1%	89	94.7%	94	210
当期純利益	22		+68		90	115

単体 (単位:百万円)	09.3月期通期業績予想		対前年実績		08.3月期 通期実績	09.3月期 期初予想 (08.5.20発表)
	(08.11.5修正)	百分比	増減額	増減率		
売上高	3,300	-	144	4.2 %	3,444	3,900
営業利益	16	0.5%	21	56.8%	37	188
経常利益	2	0.1%	40	95.2%	42	188
当期純利益	22		+152		174	101

注)上記の通期業績予想数値につきましては、平成20年11月4日付「当社連結子会社による事業の譲受けに関するお知らせ」で開示いたしました、ユニコテクノス株式会社からの事業譲受けを加味しておりません。

Contents

1. 第38期第2四半期決算説明
および第38期通期業績見通し
2. 第38期上半期のトピックス
3. 会社説明
4. 今後の展開
5. 補足資料

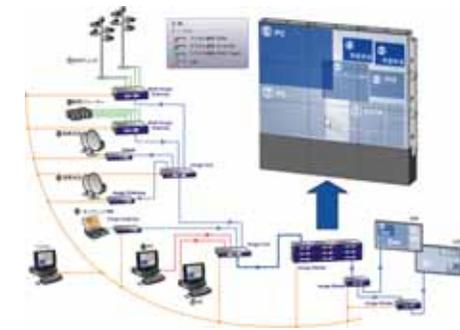
2.第38期上半期のトピックス

北海道洞爺湖サミットにおける当社取扱い製品「インディシス(IndiSys)」の利用



北海道洞爺湖サミット、国際メディアセンターメインゲートにあるデジタルインフォメーションボードのプロセッサ(映像信号制御装置)として、当社の取扱う「インディシス」が利用されました。これは、「インディシス」が、既存のプロセッサと比較して、軽量、省エネであること等の環境適応技術が高く評価されたものです。

世界中が注目したサミットでの利用を追い風として、映像ソリューション部門の営業展開を推進してまいります。



ユニコテクノス株式会社への経営支援



当社は平成20年9月に民事再生手続きの申し立てを行った、ユニコテクノス株式会社に対するスポンサー支援を決定、11月4日には事業譲渡契約を締結しております。

ユニコテクノス株式会社は、GIS(地図情報)に基づくGPSシステム等、ハードウェアを含めたソリューション提供を主たる業務としております。今後、相乗効果の最大化による当社グループの業績向上に向けて、融合を進めてまいります。

Contents

1. 第38期第2四半期決算説明
および第38期通期業績見通し
2. 第38期上半期のトピックス
- 3. 会社説明**
4. 今後の展開
5. 補足資料

3.会社説明

日本ラッドはトータルITソリューションプロバイダーです

システム構築に関連するあらゆる分野に事業展開し、「社会システム」構築を通じた「社会貢献」を目指しています。



大量データの統合・分析ツール



GIS・GPS技術を組み合わせた
新交通システム



マルチスクリーンシステム
(交通管制センターシステム等)

海外ソフトウェアの
日本語版開発・販売

ソフトウェア

自社プロダクツの
研究開発

組み合わせによるトータルソリューション

制御系システム

**ハードウェア
ファームウェア**

基幹システムに特化した
大規模システム

クライアント
サーバシステム

**通信
ネットワーク** WEB系
システム

業務アプリケーション
システム

**ヒューマン
ウェア**



戦略的システム構築
(オンラインショッピングサイト)



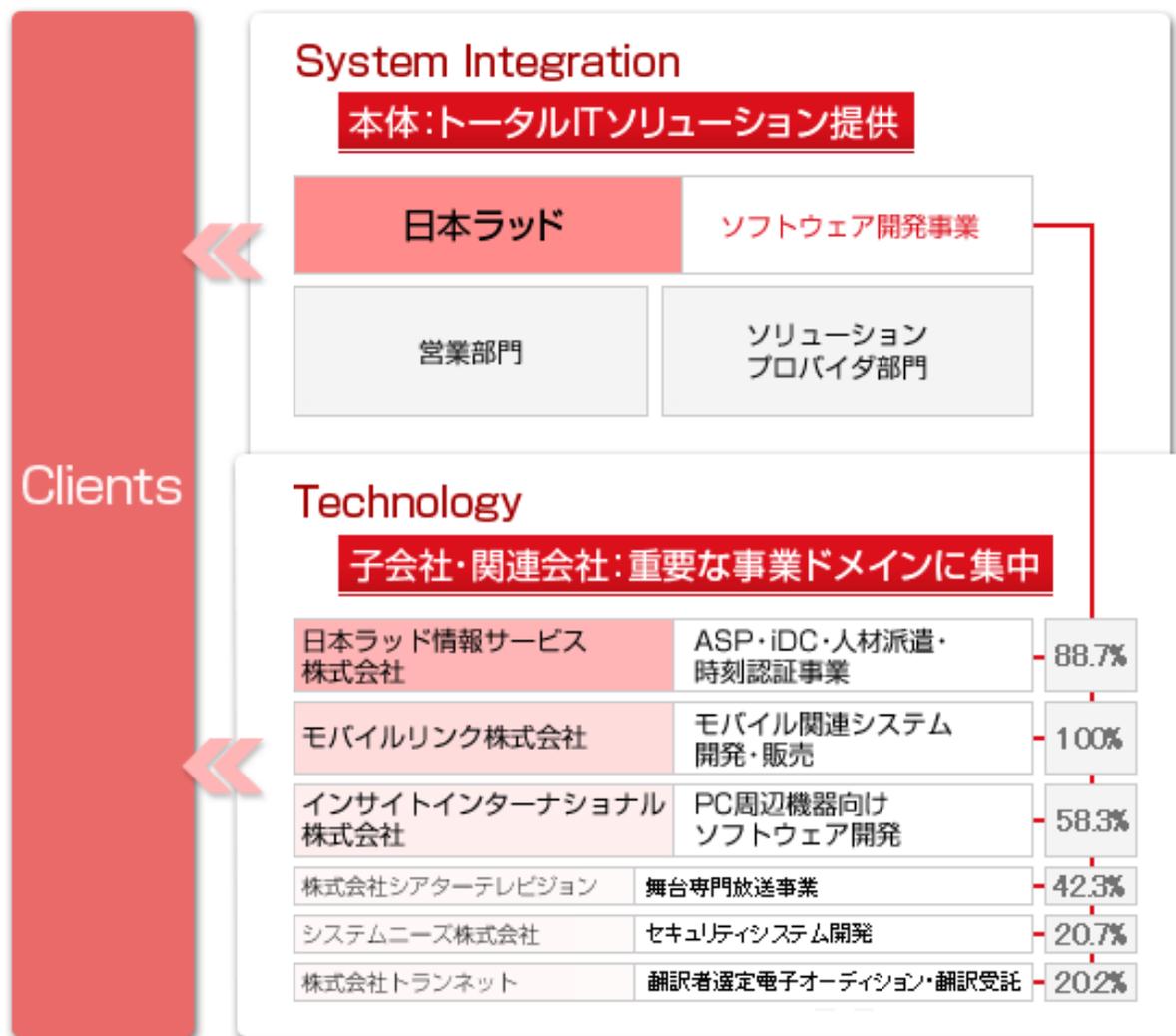
経費削減・効率改善のシステム構築
(ホテル向け自動精算機)



組込系の制御系システム構築
(OA機器、工場等)

3.会社説明

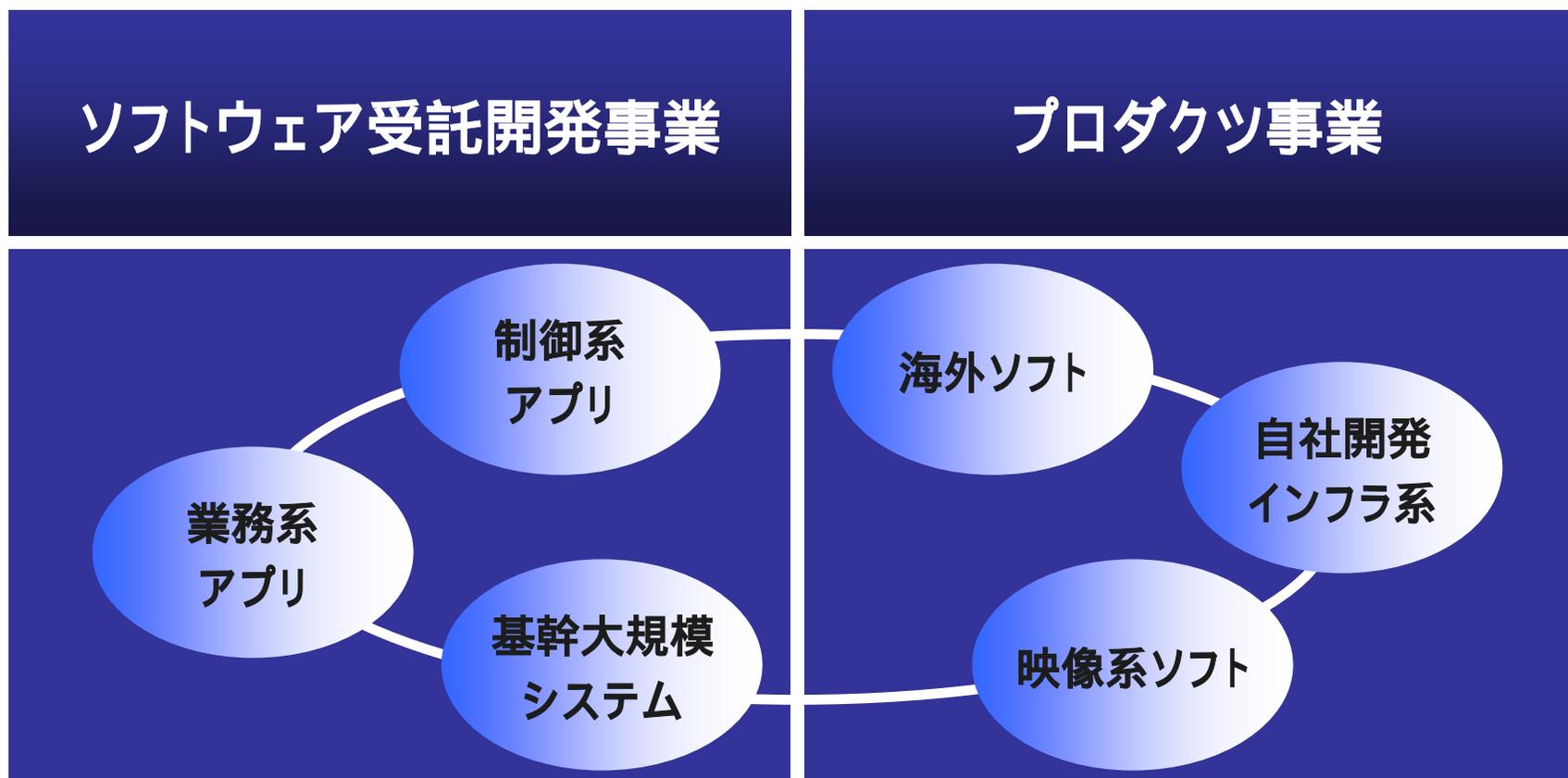
日本ラッドグループは、トータルITソリューションプロバイダーの日本ラッドと重要な要素技術に集中する子会社・関連会社で構成されます



08.3月期実績 [単位:百万円]		
連結		
売上高	4,152	
営業利益	104	
親会社	日本ラッド(株)	
	売上高	3,444
	営業利益	37
連結子会社	日本ラッド情報サービス(株)	
	売上高	591
	営業利益	35
	モバイルリンク(株)	
	売上高	208
	営業利益	14
インサイトインターナショナル(株)	売上高	164
	営業利益	1

3.会社説明

日本ラッドは、「ソフトウェア受託開発事業」と「プロダクツ事業」という2つの柱があります



日本ラッドの現在の中核事業。制御・通信系、汎用・ミドル系、業務アプリケーション系、ハード・ファーム系の開発、コンピュータシステム構築に関連するあらゆる分野へ事業展開。

自社開発ソフトウェアのパッケージ化や、海外の優れたパッケージ・ソフト等日本市場への積極的導入。近年、売上伸長。

Contents

1. 第38期第2四半期決算説明
および第38期通期業績見通し
2. 第38期上半期のトピックス
3. 会社説明
4. 今後の展開
5. 補足資料

4.今後の展開 市場環境

企業を取り巻く経営環境の変化

グローバル化

海外企業活動の増加
外国人投資家の影響力増大

情報開示強化

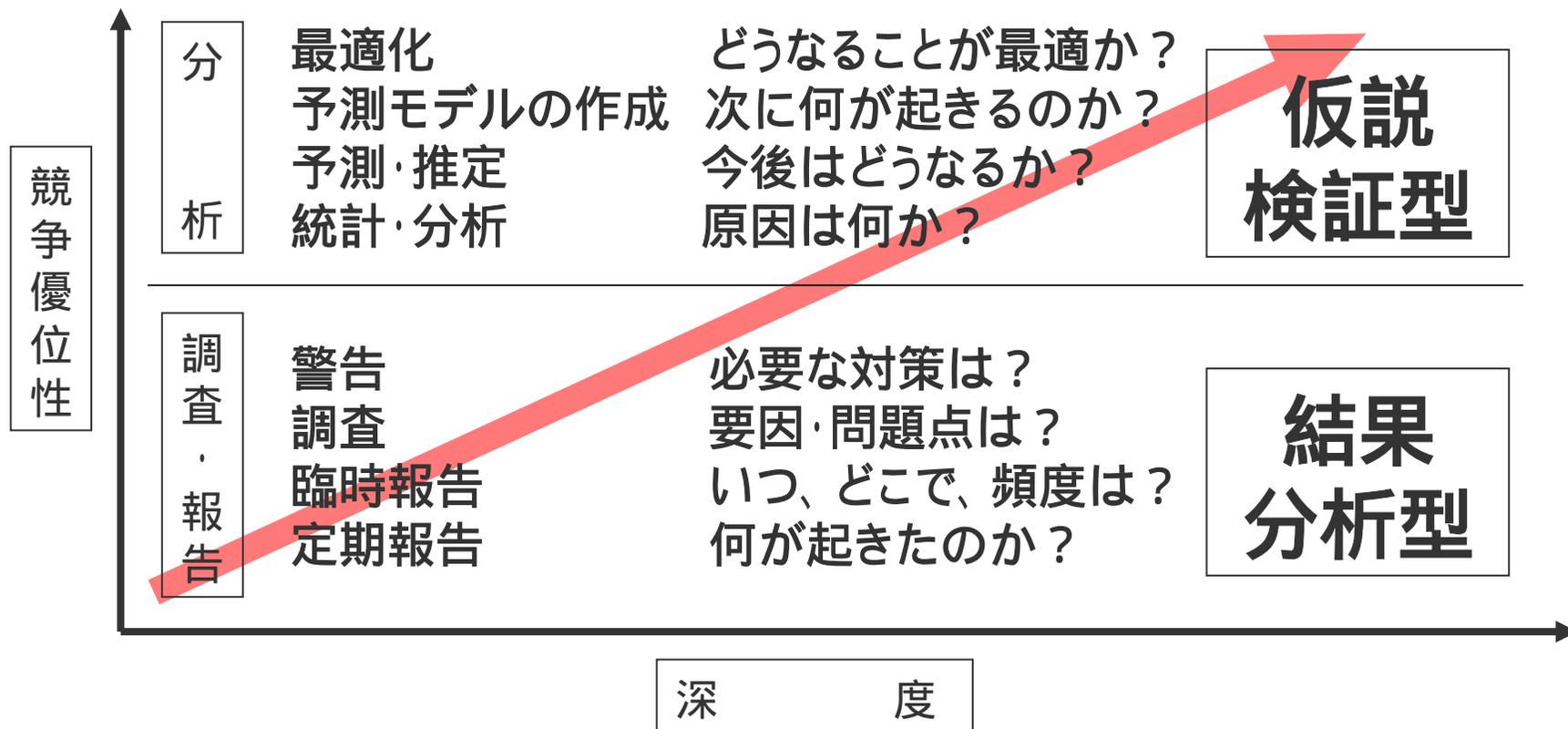
会計基準の国際的統一
内部統制強化(日本版SOX法)
投資家保護の観点からの
説明責任増大

ビジネスサイクル

45日以内の四半期報告書
開示義務化
30日以内の四半期決算短信
開示

4. 今後の展開 市場環境

過去データの分析による実態把握だけではなく、
データに基づいて将来の最適化を実現するための、
「仮説検証型経営モデル」導入の必要性が高まる。



4.今後の展開 市場環境

BA製品の日本市場*は
拡大傾向

 TM1

 eti

当社取扱い製品を核とした
キラーソリューションの創出

2005年	7190億円
2006年	7573億円
...	...
2008年	8421億円
...	...
2011年	9932億円
	(出展 IDCJapan)

* BIツール、ETL (Extract, Transform and Load) ツール、DWH (データウェアハウス) 関連製品を含む、BA (Business Analytics) の日本市場。

4.今後の展開 市場環境

外資の独立系大手BI*ツールベンダーの買収

ORACLE®

2007年3月買収

 Hyperion™
The future in sight

SAP

2007年10月買収

 Business Objects™



2007年11月買収

COGNOS®

2007年9月買収



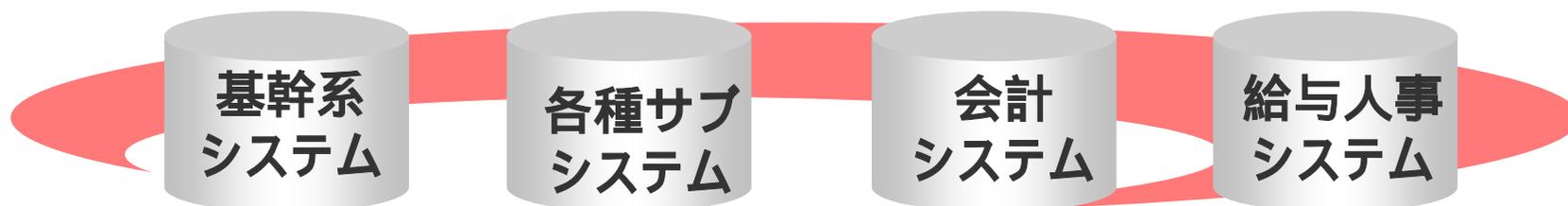
*BI(ビジネスインテリジェンス)

ビジネス上の価値向上を目標として、企業内に蓄えた多様なデータを収集、分析し、その結果を表示・配布する仕組みの総称。データをビジネスのために有効活用する仕組み。

4.今後の展開

日本ラッドの基本戦略

大量データ統合・分析にかかる「ベストソリューション」の提供



Integration

(統合)

Analysis

(分析)

Report

(報告)

Measure

(施策)

eti

【次世代データ統合ソリューション】

データベースの新旧や多寡、また顧客の既存IT環境に制約されない広汎な対応性を持つデータ統合ツール。エンジンやハードウェアを必要としないため、導入コストを飛躍的に削減する、次世代のデータ統合ソリューション。

i TM1

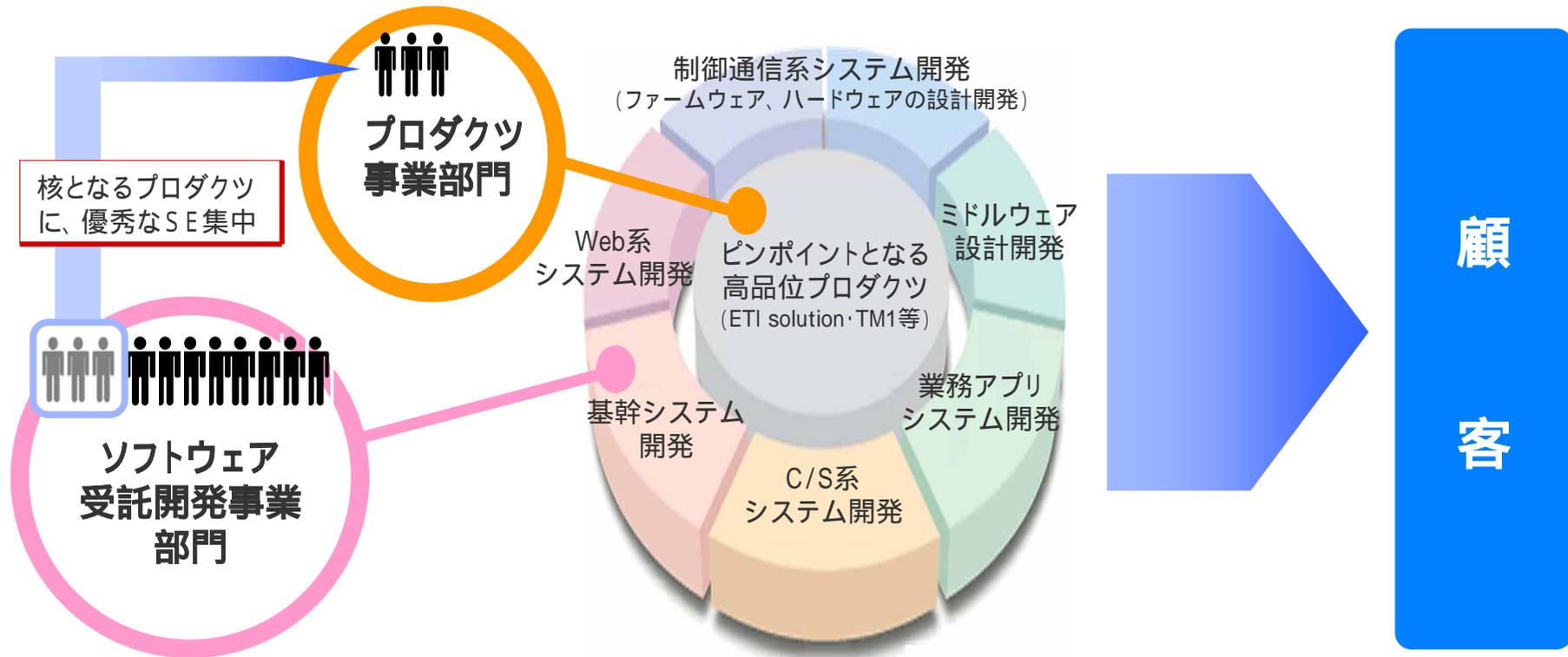
【業界最速のBIツール】

高速レスポンスとリアルタイム分析を実現。BPM(ビジネス・パフォーマンス・マネジメント)に必須の戦略策定、予算編成、経営予測、データ統合、分析・レポートのソリューションをご提供し、経営分析の迅速な判断を支援。

4.今後の展開

日本ラッドの基本戦略

ピンポイントとなる高品位プロダクツを核とした営業戦略の推進



生産力強化

プロダクト中心の
収益モデル確立

営業力強化

4.今後の展開

日本ラッドの基本戦略

主要ビジネスモデルの転換

現在の主たるビジネスモデル

営業活動

受託開発

受託開発を主とした営業活動

委託開発費

高収益プロダクツ事業のビジネスモデル

プリセールス
営業活動

コンサル
ティング

システム
インテグレーション

メンテナンス

自社製品を核とし
た営業活動

コンサルフィー
収入

受託開発案件への展開
= 開発案件の増加

メンテナンスフィー収入
(15% / 年)

日本ラッドは、業績の踊り場を抜け、 第二次成長フェーズを目指します

38期以降、本格的成長ステージへ



Contents

1. 第38期第2四半期決算説明
および第38期通期業績見通し
2. 第38期上半期のトピックス
3. 会社説明
4. 今後の展開
5. 補足資料

5.補足資料

会社説明【会社概要】

設立

1971年6月7日

上場

1999年11月9日 (JASDAQ 4736)

事業内容

システム設計・開発
パッケージソリューション開発・販売

代表者

代表取締役会長兼社長 大塚 隆一
代表取締役副社長 大和 喜一

決算期

3月

資本金

7億7,283万円

発行株式数

4,505,390株

従業員数

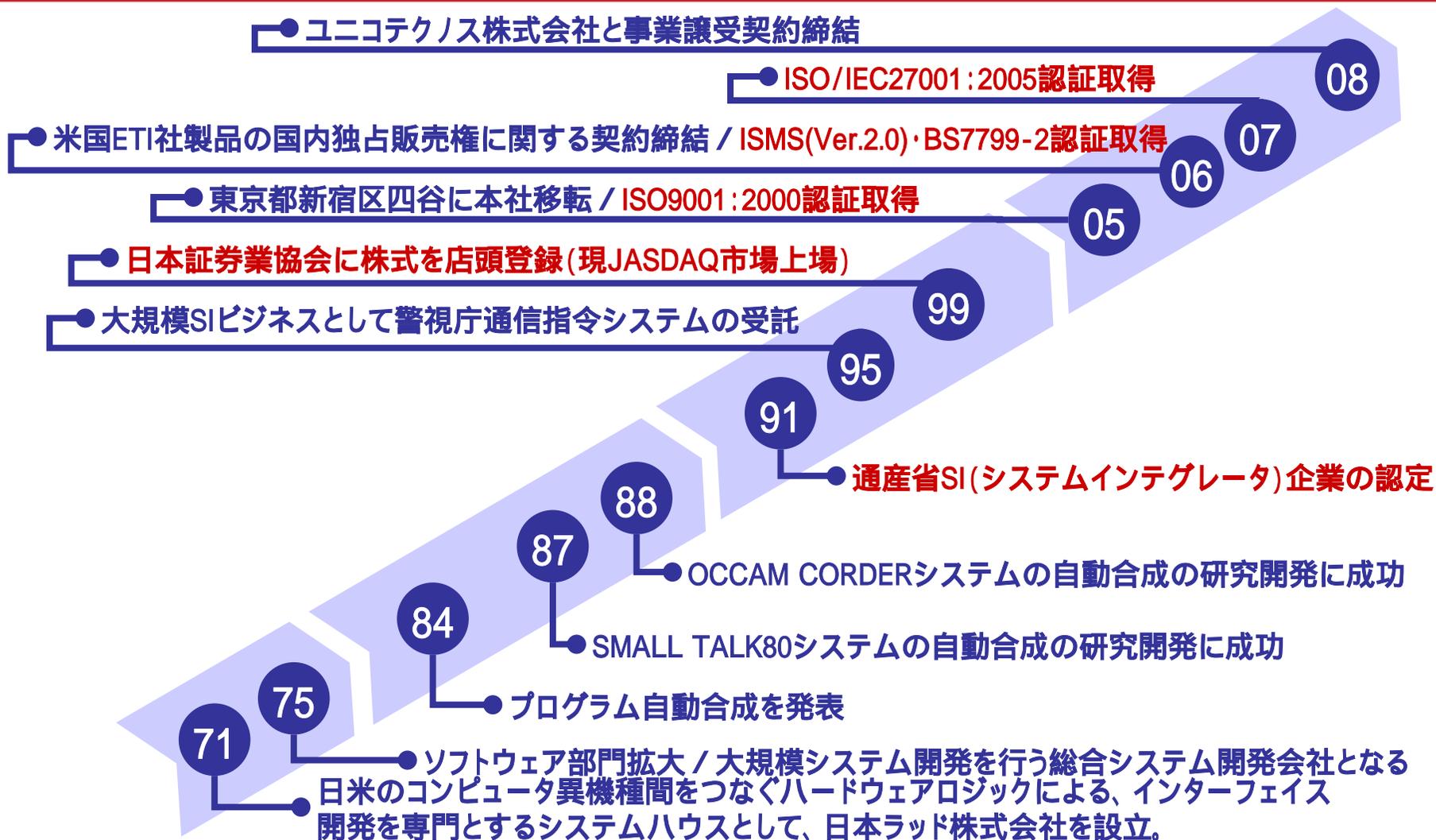
301名(2008年9月30日現在)

事業所一覧

本社(東京都新宿区:写真)、千葉
大阪、名古屋、浜松、金沢、松本



5.補足資料 会社説明【沿革】



5.補足資料

事業説明【ソフトウェア受託開発】

ITの最先端技術を駆使して、様々なお客様のご要望を実現しています

例

オンラインショッピングサイトの構築



インターネットによる受注システムの構築により、企業様の業績向上へつながる仕組みをご提供。

例

花卉ブロードバンドオークションシステムの構築



衛星放送と専用端末を使用していた既存の花卉仕入れのシステムを、インターネット環境があればどこでも競りに参加出来るシステムに構築。花卉仕入れ業者様の利便性向上を実現。

例

ホテル向け自動精算システム開発

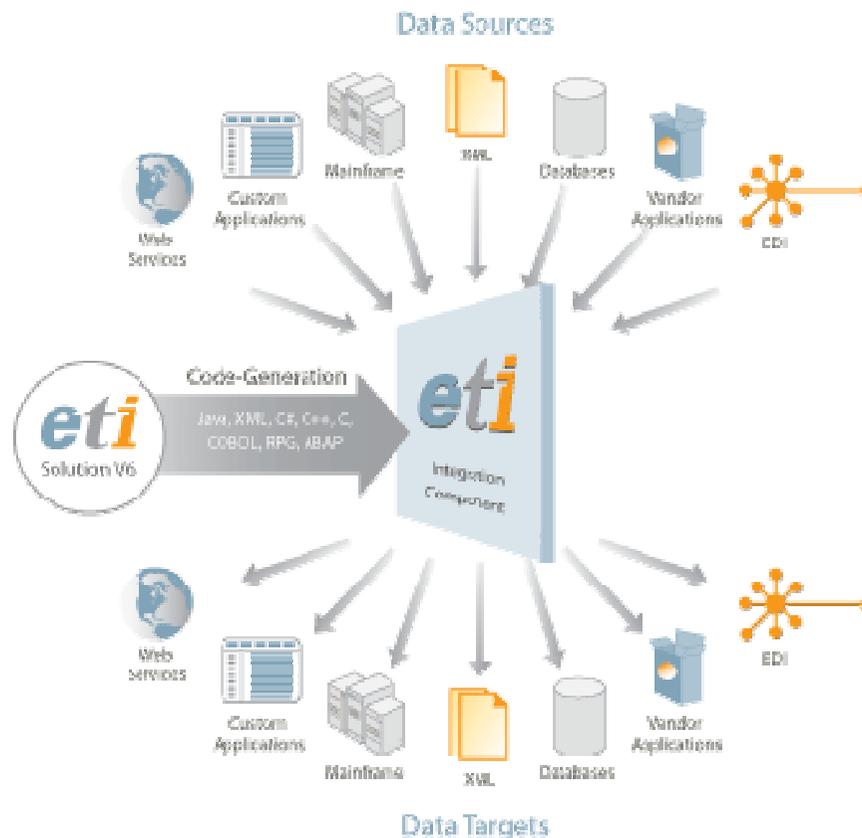


お客様にとっては迅速・確実・便利なサービスの享受、ホテル側にとってはフロント業務の省力化と、運用側、利用側の両方のメリットを実現。多言語対応ガイドランス採用により、外国のお客様にも対応。

5.補足資料

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ETI Solutionは、革新的・画期的な、次世代データ統合ソリューションです



高品質プログラムを自動生成する
独自のアプローチにより、メインフレーム、
オープン系、WEB系のシステムに存在
する、あらゆる情報をコントロールし、
情報の100%有効活用を実現。



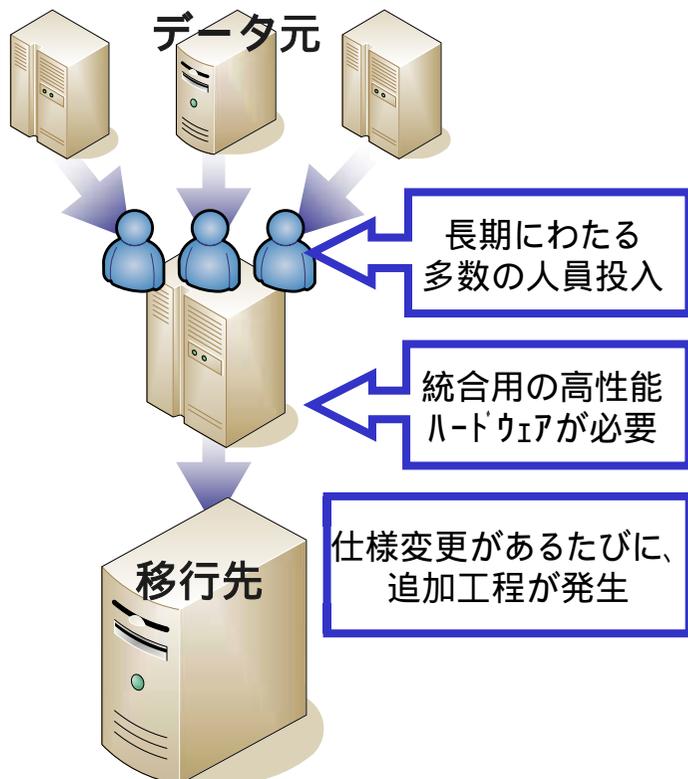
**情報の管理・運用
にかかるコストを
劇的に削減！！**

5.補足資料

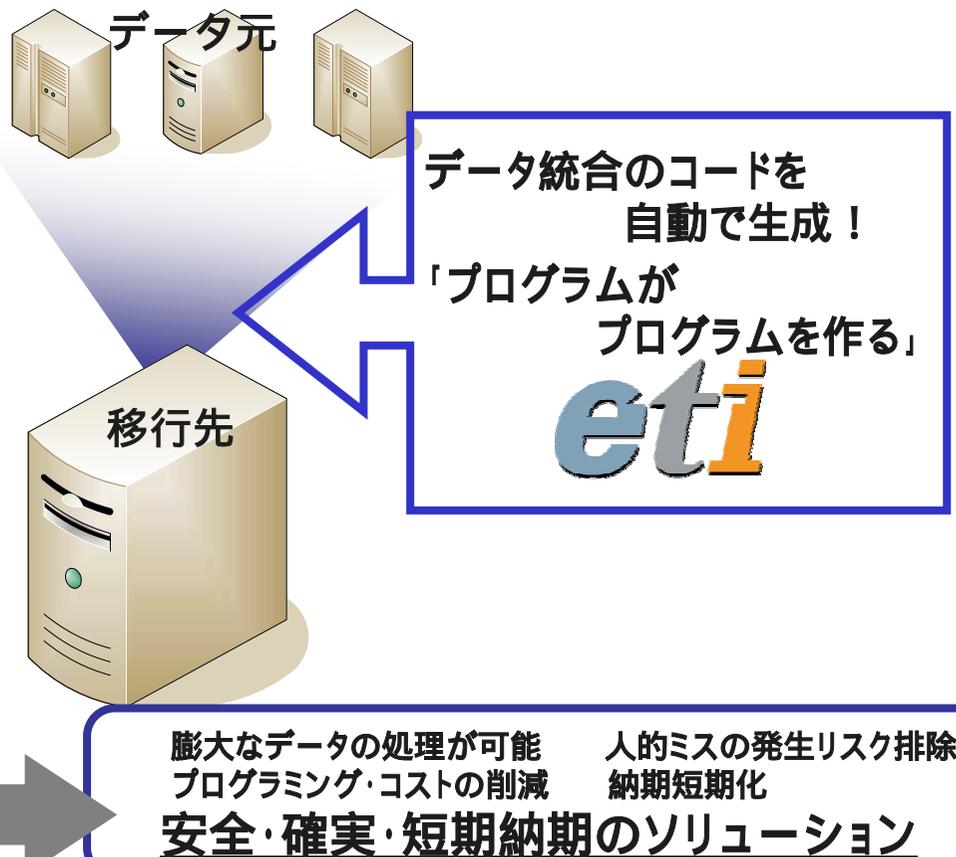
事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ETI Solutionの主な特長(イメージ)

既存のデータ統合ツール



ETI Solution



5.補足資料

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

ユーザ ベネフィットの一例

「ETI Solution」は、欧米で大きな効果をあげています

顧客	項目	効果
<p>米国国防総省 (米国 政府機関)</p> 	<p>運用コスト</p>	<p>2年間で、 約200万ドル削減</p>
<p>Proctor & Gamble (米国 生活用品)</p> 	<p>運用要員</p>	<p>325人 8人</p>
<p>Experian (米国 証券)</p> 	<p>実行速度</p>	<p>1ヵ月～1ヵ月半 24時間</p>

5.補足資料

事業説明【製品紹介1 ETI Solution- 】

トヨタ・ヨーロッパ(自動車)、ボーイング(航空機)、テレフォニカ(通信)、フリートバンク(銀行)、アクサ(保険)等の大企業をはじめ、世界中で400を超える企業への導入実績。米国国防総省や国家安全局等の公的機関への導入はセキュリティ面も含めたその堅牢性と信頼性を証明。

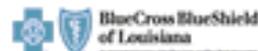
政府関係



Booz | Allen | Hamilton
90 years delivering results that endure



医療



製造・販売



通信



金融・保険



5.補足資料

事業説明【製品紹介2 TM1】



オンライン分析エンジン「TM1」は業界最速のビジネスインテリジェンス・ツール
高速レスポンスとリアルタイム分析を実現

TM1は、BPM(ビジネス・パフォーマンス・マネジメント)に必須の戦略策定、予算編成、経営予測、データ統合、分析・レポートのソリューションをご提供し、経営分析の迅速な判断を支援するソフトウェアです。

製造業の原価管理、金融業の財務分析にも広く使われており、全世界で2500社を超える国際企業への採用実績があります。

全世界での 利用実績	全世界2500社以上、「Fortune」が選ぶ米企業 トップ100社の30%以上の企業が採用
最短の所要 時間	89%のユーザーが、導入6ヶ月以内に 実運用開始を実現
最高の顧客 満足度	ビジネス目標達成率にて高い評価 (OLAP Survey5調査)
最速の パフォーマンス	同種製品中、最も高速なロード/演算スピード (OLAP Survey5調査)



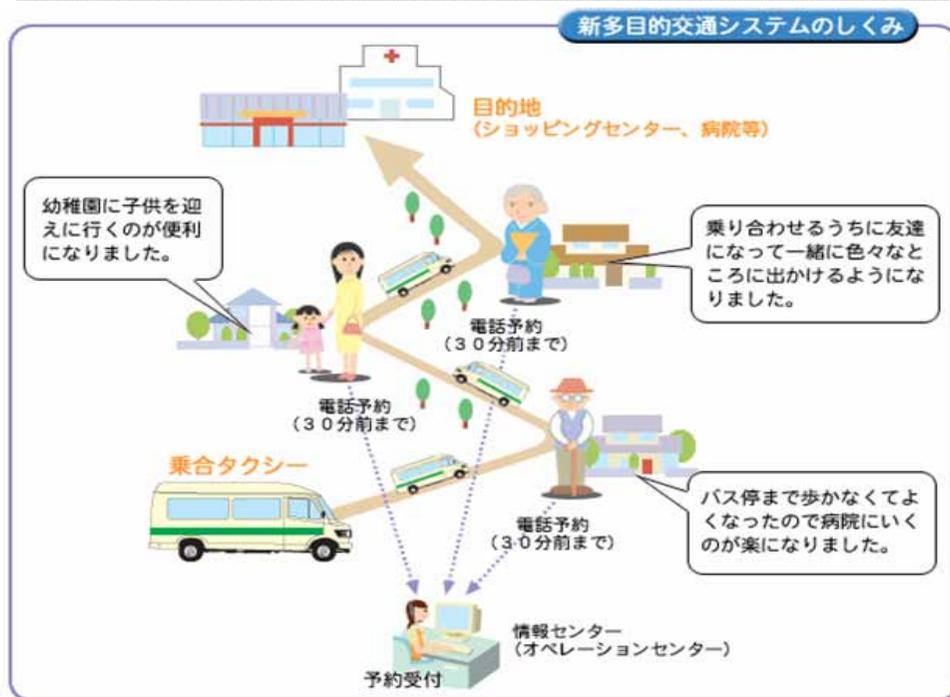
TM1ワールドワイドユーザー

5.補足資料

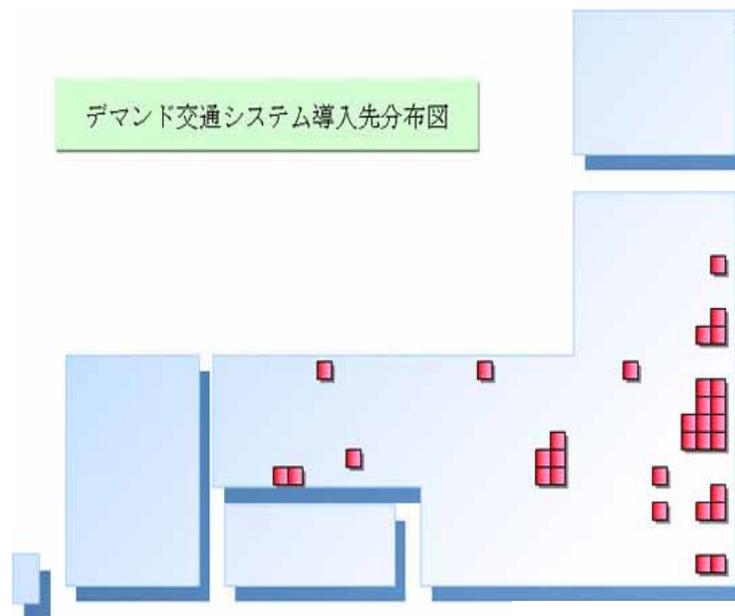
事業説明【製品紹介3 デマンド交通システム】

高い利便性、低コスト・低料金を実現する
公共交通サービス

既に全国で41市町村が導入
地域の活性化や財政支出削減に寄与



デマンド交通システム導入先分布図



導入事例 福島県小高町(現 南相馬市)での導入後の効果

高齢者の外出機会増加……固定ルートの路線バスなど異なり、自宅など登録した地点から目的地までタクシー感覚で利用可能
 道路混雑の削減……予約・配車をシステムが一元管理、空車で走ったり、回り道をする事なく、また道路混雑の平準化にも貢献
 財政支出の削減……福祉バス2台の年間経費約2,500万円に対し、デマンド交通システムの年間経費は840万円
 地域の活性化……利用状況 降車1位「医療機関へ55.7%」2位「商店へ11.3%」、乗車1位「商店から37.6%」

5.補足資料

事業説明【製品紹介4 映像ソリューション】

監視センター業務

高い信頼性を必要とする交通、110番、防災等のセンター業務向け大型表示システム



文教施設

電子掲示板、国際会議システム向け大型表示板



情報・イベント

ショールーム、店舗、アミューズメント施設等向け、業界最高水準の映像表現でサービス構築を支援



放送局

ニュース・CMの送出、番組制作、放送番組監視等でクリアなタイムラグのない映像表示を提供



5.補足資料

業績推移【連結損益実績】

単位:百万円 (切り捨て)	05.3月期 実績	百分比 (%)	06.3月期 実績	百分比 (%)	07.3月期 実績	百分比 (%)	08.3月期 実績	百分比 (%)
売上高	4,161	100%	4,258	100%	4,482	100%	4,152	100%
売上原価	3,481	83.6%	3,430	80.6%	3,573	79.7%	3,269	78.7%
売上総利益	681	16.4%	828	19.4%	909	20.3%	883	21.3%
販売管理費	602	14.5%	696	16.3%	713	15.9%	779	18.8%
営業利益	79	1.9%	131	3.1%	196	4.4%	105	2.5%
営業外損益	43	1.0%	10	0.2%	35	0.8%	11	0.2%
経常利益	36	0.9%	121	2.9%	161	3.6%	94	2.3%
特別損益	277	6.7%	45	1.1%	41	0.9%	180	4.4%
税金等調整前当期純利益	241	5.8%	167	3.9%	202	4.5%	85	2.1%
法人税・住民税及び事業税 法人税等調整額	32	0.7%	15	0.3%	134	3.0%	3	0.1%
当期純利益	272	6.5%	181	4.2%	72	1.6%	90	2.2%
従業員1人当たり推移 (個別)	05.3月期 実績	06.3月期 実績	07.3月期 実績	08.3月期 実績				
従業員1人当たり売上高(千円)	12,970	13,109	13,640	11,636				
従業員1人当たり当期純利益(千円)	-	517	189	-				
従業員数(人)	279	287	283	296				

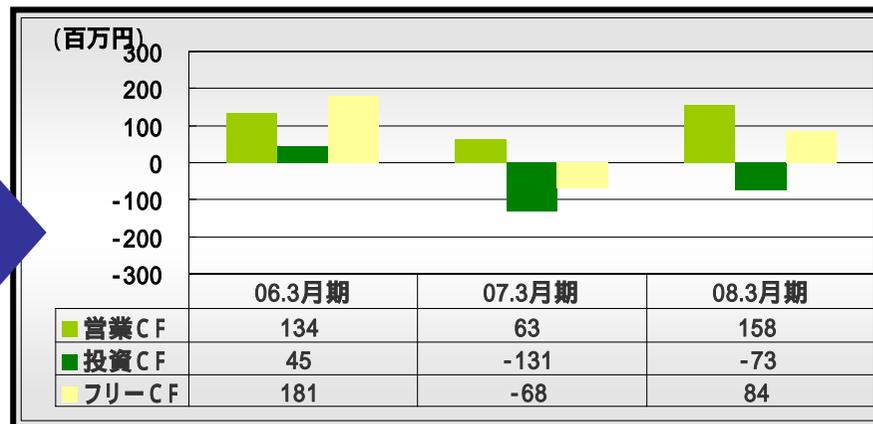
5.補足資料

業績推移【連結貸借対照表とキャッシュフロー計算書】

単位:百万円	06.3月期	07.3月期	08.3月期
流動資産	2,871	2,946	2,477
現金及び預金	1,753	1,720	1,462
受取手形・売掛金	898	984	842
たな卸資産	79	80	84
繰延税金資産	88	47	57
固定資産	1,015	1,052	1,040
有形固定資産	531	524	512
無形固定資産	20	77	68
投資その他の資産	464	449	459
資産合計	3,886	3,998	3,517

単位:百万円	06.3月期	07.3月期	08.3月期
流動負債	656	1,037	1,196
買掛金	244	325	209
短期借入金	75	100	80
一年内償還社債	-	300	600
未払法人税等	11	52	33
賞与引当金	116	90	126
固定負債	1,354	1,051	536
社債	900	600	-
純資産(資本)	1,826	1,909	1,784
負債及び純資産合計	3,886	3,998	3,517

【CF計算書】(単位:百万円)	06.3月期	07.3月期	08.3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	134	63	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	45	131	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	251	35	347
現金及び現金同等物の増減額	68	32	265
現金及び現金同等物の期首残高	1,821	1,753	1,720
現金・現金同等物の期末残高	1,753	1,720	1,462

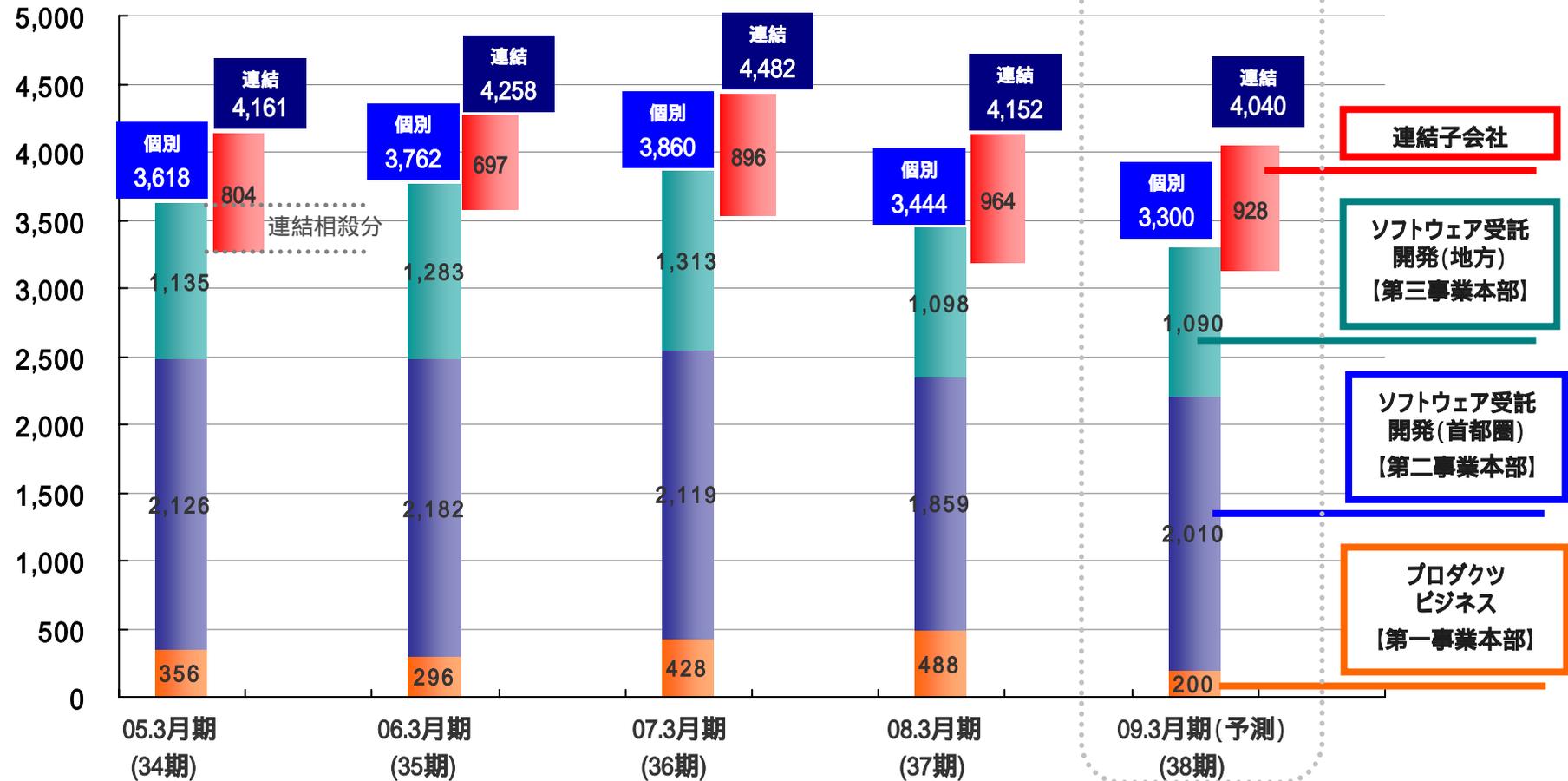


5.補足資料

業績推移【売上高推移グラフ】

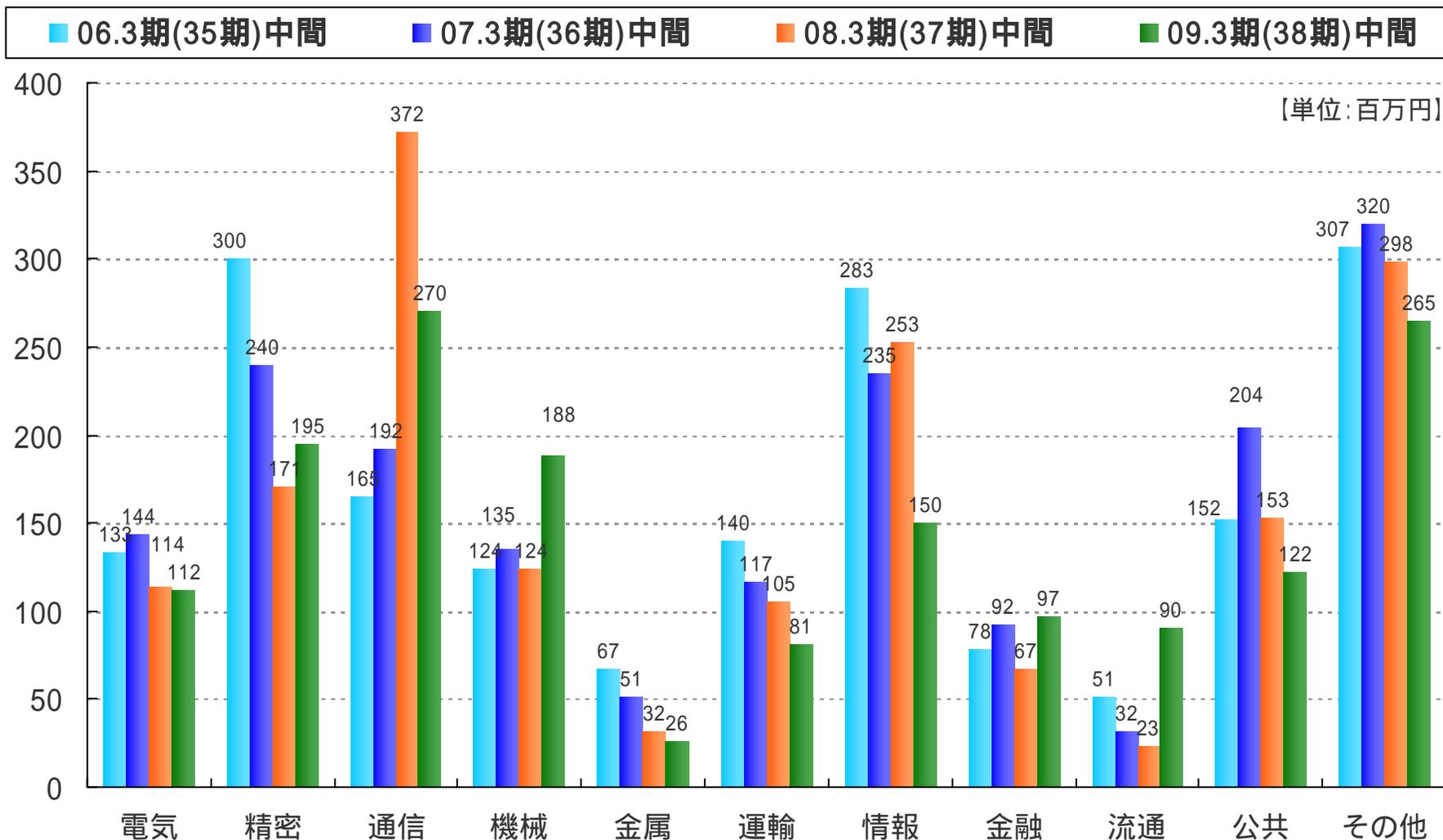
事業本部別売上推移

単位:百万円



5.補足資料

業績推移【エンドユーザー別売上高推移】





本資料に関してのお問い合わせ先
経営企画室 TEL03-5919-3002

<http://www.nippon-rad.co.jp/>

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点で入手可能な情報に基づく当社の判断であり、
その情報の正確性・完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後予告なしに変更することがあります。